

今夏(2016年)の天候と商品販売の傾向予測について

生活密着型天気予報を配信する株式会社ライフビジネスウェザー(本社:東京都中央区、代表取締役:石川勝敏 以下、LBW)のビジネス気象研究所は、予想される今夏(2016年夏)の天候傾向から一般産業界での注目ポイントをまとめました(表1)。今夏の天候傾向は、沖縄・奄美を除いて、くもりや雨の日が多いものの、気温は高く、蒸し暑い日が多くなる予想です。夏物商品の販売は好調ですが、屋外レジャーなどは低調になる可能性があります。

表1 今夏の商品販売の傾向予測(平年比)

	品目	沖縄・奄美	西日本	東日本	北日本	ひと言解説
食物	冷やし麺	↑	↑	↑	↓	ざるそば、ひやむぎなどの「冷やし麺」は、暑さに比例して売れる代表的な季節商品。
	カレー	↑	↑	↑	↔	カレーは暑さで需要が高まる。「汗をかいて暑さをふきとばす」以外に「夏バテ防止の意図」も。
	カップ麺・スープ	↓	↓	↓	↑	気温があまり上がらず、体感的にいつもの年より涼しく感じられると、夏にもかかわらず伸長する。
	味噌汁	↓	↓	↓	↑	暑いと避けられがちな超定番商品も、涼しければ、ご飯と同様にニーズが維持される。
飲料	ビール	↑	↑	↑	↓	「冷やし麺」と同じく、暑さに比例して売れる代表的な商品。くもりや雨より晴れるほうが伸長する。
	野菜ジュース	↓	↓	↓	↑	暑いと、野菜ジュースより、さっぱりしたミネラルウォーターやお茶のニーズが高まる。
	栄養ドリンク	↑	↑	↑	↔	暑いほど、夏バテ防止や体調不良を解消するためにニーズが高まる。手軽で冷たい飲料なの夏には吉。
衣料	夏物衣料	↑	↑	↑	↓	「夏物」というだけあって、暑さが消費を後押しする商品。サンダル・日傘・サングラスも類似。
	水着	↑	↑	↔	↓	日差し、暑さ、タイミングが重要な商品。ベストなのは平年より梅雨が早く明け、夏空が続くことだが…。
	長袖のパジャマ	↑	↑	↑	↓	意外に感じるかもしれないが、寝苦しい夜に、冷房をつけて寝るため、平年より伸長。
家電	エアコン	↑	↑	↑	↓	冷やし麺やビールと同様に暑さ比例商品。特に7月に暑くなることが重要。
	除湿機・乾燥機	↑	↑	↑	↑	「雨物」と言われる商品群。東・西日本は除湿機、乾燥機は北日本で伸長。
	脱毛器具	↑	↑	↑	↓	脱毛器具は、蒸し暑さで、薄着で出かける機会が増えると伸長。晴ればさらに伸びる。
レジャー	屋外テーマパーク	↓	↔	↔	↓	雨が多く降ってもだめだが、暑い中、長時間待つのも忌避される。くもり空が意外に好調。
	屋内テーマパーク・映画	↑	↑	↑	↑	不順な天候を避けるため、特に東・西日本は涼を得るためにも、支持される。もちろんヒット作にもよるが。
	温泉	↓	↓	↓	↑	温泉ニーズは、気温が平年より低いと高まる。冷夏特需が特に起こりやすいレジャー。
	レンタルDVD	↓	↑	↑	↑	レンタルDVD観賞は、天候不順や猛暑を避けて余暇を過ごすにはもってこい。
生活	野菜価格	↔	↑	↑	↑	野菜は、長雨や日照不足はもちろんだが、猛暑でも生育が悪化し、価格が高騰する。
	豚肉・鶏卵・生乳価格	↑	↑	↑	↔	豚・鶏・牛の育成にとって、暑さはマイナス。猛暑になると関連商品は出荷が遅れ、品薄になるおそれがある。
	電力需要	↑	↑	↑	↓	暑いほど、エアコンのニーズが高まるように、エアコンで消費する電力も必要になる。

↑ 好調 ↓ 低調 ↔ 普通

西日本は近畿・中国・四国・九州 東日本は関東甲信・北陸・東海 北日本は北海道・東北
今年の天候予想と過去の商品販売データをもとに独自で算出
あくまで傾向であり、実際の商品の売り上げなどを意味しない

昨今の注目海域における海水温状況

日本周辺における中長期的な天候トレンドを把握する上で、その海水温動向の影響が特に詳しく研究、評価されている海域が、熱帯太平洋東部(ペルー沖周辺)とインド洋です。その両海域の昨今の海水温動向をまとめます。

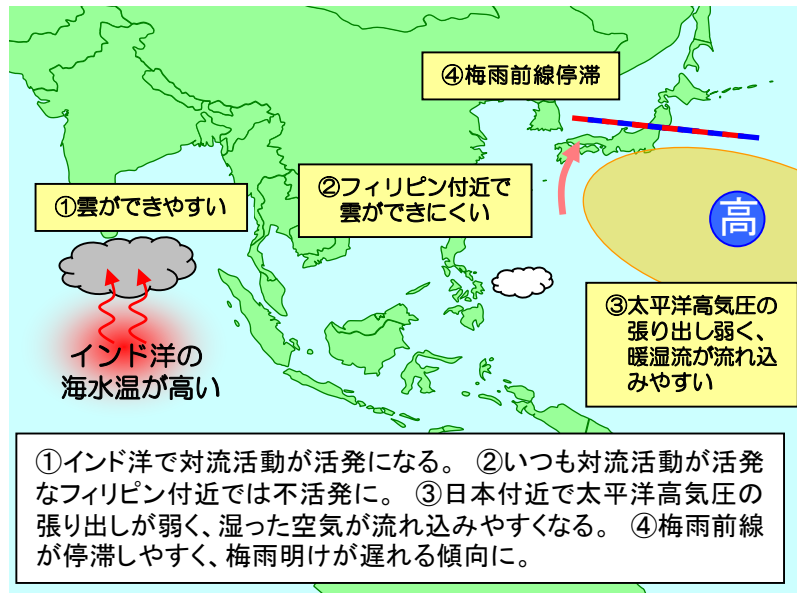
<ペルー沖海水温>

ペルー沖では2014年夏よりエルニーニョ現象(海水温が平年に比べて高い状態が続く現象)が発生していました。気象庁が4月11日に発表した最新の『エルニーニョ監視速報』によりますと、現在発生中のエルニーニョ現象は、今後弱まりながら今年夏のはじめには終息している可能性が高く、またその後、夏の間にはラニーニャ現象が発生する可能性があることを示唆しています。

<インド洋海水温>

現在、インド洋熱帯域の海水温は高い水準となっており、今秋に向けて徐々に平年並みに向かいますが、今夏までは高めで推移する予想となっています。インド洋熱帯域の海水温が高いと、近接するフィリピンの周辺の対流活動に作用し、それが太平洋高気圧の勢力の張り出しを弱め、日本の夏の天候不順につながる傾向があることが過去の研究によって示されています(図1)。

図1 インド洋熱帯域の海水温と日本の夏の関係



1998年のトレンドに酷似

近年、エルニーニョ現象が終息したあとすぐにラニーニャ現象が発生するというトレンドを示した年が3回あります。それは、1988年、1998年、2010年です。この3例について、より詳しく解析したところ、ペルー沖やインド洋の海水温動向が最も類似しているのが1998年でした。このことから今夏は1998年の天候推移を基本にすべきと考えました。

その1998年夏は、一言でまとめると「北冷西暑」の気温分布でした。北陸及び東北南部、東北部では梅雨明けの発表がなく、西日本太平洋側や南西諸島を除いて全国的に日照時間が平年より少なくなりました(表2)。また、北日本中心に雨が多く、8月は秋雨前線や台風の影響で、福島・栃木・新潟などで記録的な大雨による被害も発生しました(平成10年8月上旬豪雨、平成10年8月末豪雨)。秋は全国的に気温が高めとなったものの、台風が5号、7号、8号、10号と立て続けに上陸し、活発化した秋雨前線の影響もあり、各地で記録的な大雨や暴風になりました。

表2 1998年夏の天候実績（平年比）

	気温	降水量	日照時間
北日本	低い	かなり多い	かなり少ない
東日本	並	並	かなり少ない
西日本	高い	少ない	少ない
沖縄・奄美	かなり高い	並	並

1998年の夏の天候を前提とした産業への影響予測

今年(2016年)の夏の天候を1998年をベースに考えた場合の産業界への影響についてまとめます。今夏の天候を「北冷西暑」あるいは「北並西暑」のパターンと想定した場合、西日本では3年ぶりの暑夏傾向ということになります。昨年(2015年)、一昨年(2014年)と、夏物商品の販売数が伸びなかったことが想定されるため、今夏の西日本については夏物商品の販売数が大きく伸びることが期待されます。特に西日本で高温傾向の場合、気温が40度前後に達することも考えられます。熱中症関連商品が特に注目すべき部門ということができるでしょう。

東日本では2004年以降、南西諸島では2001年以降、夏季の気温は平年並みか高めの値が続いています。今夏も高温傾向となった場合、今年も変わり映えのしない夏の天候を想像されるかもしれませんが、実際には昨年(2015年)、一昨年(2014年)と残暑がほとんどなく比較的スムーズに秋に突入したため、晩夏、初秋商戦はここ2年とは異なる可能性があります。秋物商品投入タイミングの見極めには特に注意を払ってください。

<注意点>

今回、1998年のペルー沖及びインド洋熱帯域の海水温動向が今夏予想されているトレンドに近いこと、1998年の夏の天候を前提としたトレンド予測としました。南西諸島～東日本にかけては猛暑予想ということができ、気象庁が2月に発表した暖候期予報と矛盾しませんが、実際には南西諸島で晴れる日が多いほかは全国的にぐずつきやすく「夏空で猛暑」というより「くもりや雨で蒸し暑い」という地域が多くなることも考えられます。

ちなみに、それ以外に傾向が近いとして例を挙げた1988年及び2010年の天候実績についても簡単にまとめておきます。1988年は南西諸島で高温傾向だったものの、それ以外の地方では低温傾向でした。温暖化が進んでいること、ここ数年の研究報告の中で地球温暖化の再加速が始まる可能性が示唆されることなどから今夏の全国的な冷夏の可能性は低いと考えられますが、考慮しておく必要があります。一方、2010年は「戦後最も暑い夏」といわれたように全国的に記録的な猛暑となりました。太平洋高気圧の北への張り出しが予想よりも強く、またオホーツク海高気圧が何らかの原因によりあまり発達しない状況となった場合には全国的に猛暑の可能性もあります。

引き続き4月25日、5月25日、6月24日に気象庁から発表される3か月予報で情報をアップデートしながら今夏の商戦に向けて手配いただければと考えます。

<会社概要>

- (1) 商号 : 株式会社ライフビジネスウェザー (気象庁予報業務許可第83号)
- (2) 代表者 : 代表取締役 石川勝敏
- (3) 本店所在地 : 東京都中央区日本橋堀留町1-10-14人形町セントラルビル2階
- (4) 設立年月日 : 1998年1月
- (5) 主な事業の内容 : 流通気象、建設気象、健康気象、生活気象に関する各種情報提供

本件に関するお問い合わせはこちらへ>

株式会社ライフビジネスウェザー ビジネス気象研究所

E-mail: contact@lbw.jp

TEL: 03-3668-6141 FAX: 03-3668-6145

HP: www.lbw.co.jp(コーポレートサイト)

lab.lbw.jp(ビジネス気象研究所サイト『生活気象ラボ』)

